

序

叛逆への招待

八木健彦

赤軍派から赤軍へ

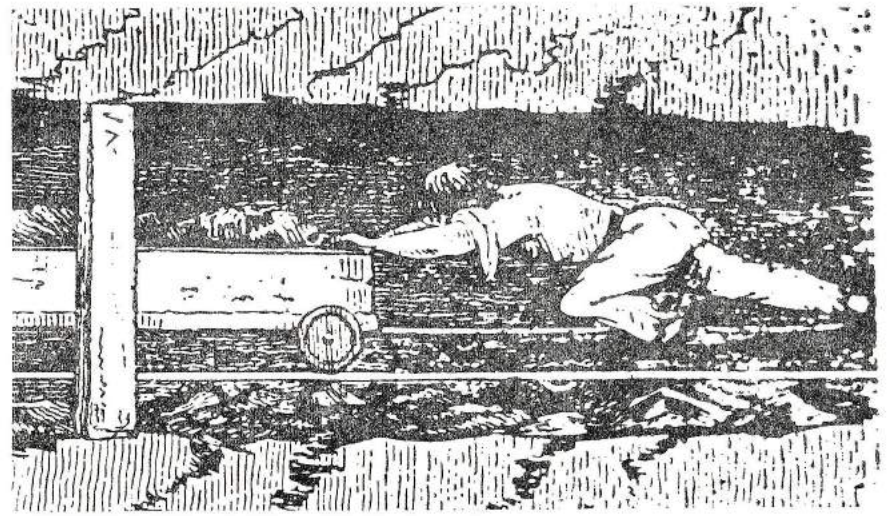
章

逆光の思想

佐野茂樹

蜂起に関する覚え書





特集 革命の時代への提言

蜂起に関する覚え書

佐野茂樹

8

〈赤軍派〉から赤軍へ

八木健彦

19

全共闘とパルチザン

暉峻 章

48

インドシナ革命戦争の新局面
と転換点

佐賀礼二

59

釜ヶ崎狂頭会議

西嶋 彰

65

現代青年論

八木俊樹

73

私達と〈私達〉についてのノオト

長尾 一郎

83

後退の論理

中谷 寛章

87

女術考

池田 浩士

100

革命的サンディカリズム試論

大塚 雅也

111

文学と永久革命

加藤 敏雄

124

革命的主体を律するもの

ドイツ・SDS
訳・滝沢 廸子

129

ラズル・カ(訣れ)抄

H・ツヴェーター・エワ
訳・工藤正広

136

ロマンの復活

稲垣 真美

140

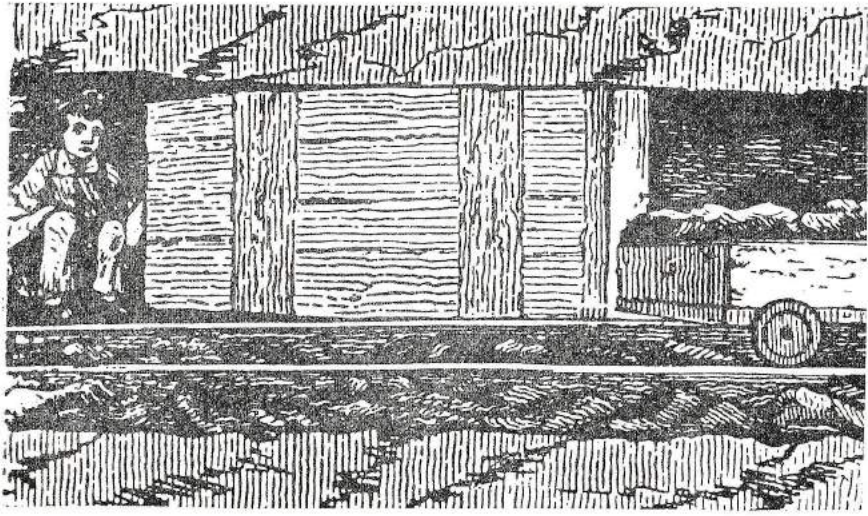
短篇 「顔」

奥野 路介

144

時 評

5



序章



暴力考……………滝田修

世界革命運動の現段階……………八木健彦

N・L・Aの組織的諸問題……………C・マリゲラ

ブラック・ナシヨナリズム……………G・ブレイトマン

過渡期世界における赤軍……………上野勝輝

軍事ノート(1)……………小林ちよじ

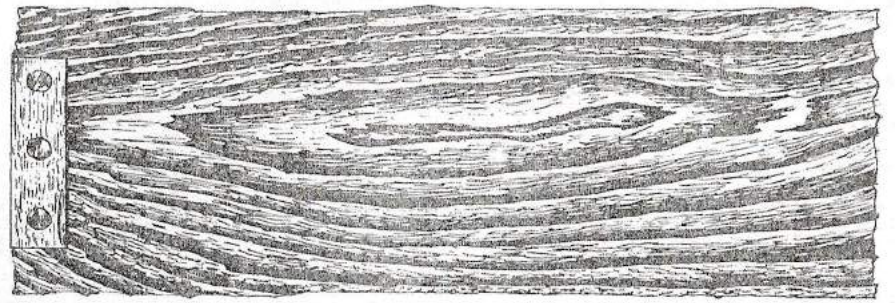
公害元年のハイボール……………西嶋彰

日本の革命者、北一輝……………暉峻中

日本文化論へのノオト……………石川九楊

島尾敏雄私論……………村上武夫

ローマの別荘……………奥野路介



特集 新たな暴力の創造を

暴力考 滝田 修 6

世界革命運動の現段階 八木健彦 22

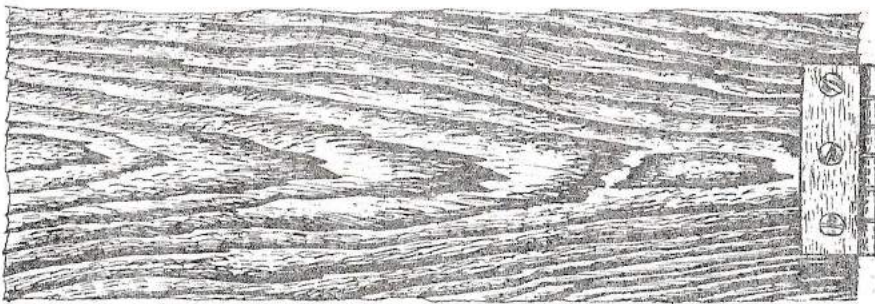
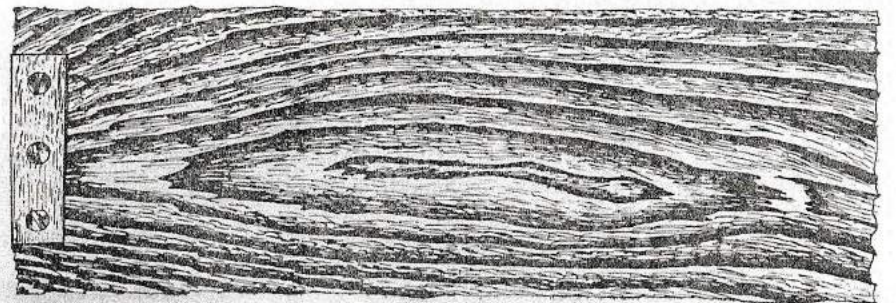
軍事ノート(I) 小林ちよじ 53

NLAの組織的諸問題 C・マリゲラ (訳)大塚雅也 47

過渡期世界における赤軍 上野 勝輝 61

ブラック・ナシヨナリズム G・ブレイトマン (訳)吉守 昭 72

ルボ・夏ー水保 野中 淳 83



公害元年のハイボール 西嶋 彰 93

日本の革命者北一輝 暉 峻 中 103

日本文化論へのノオト 石川 九 楊 115

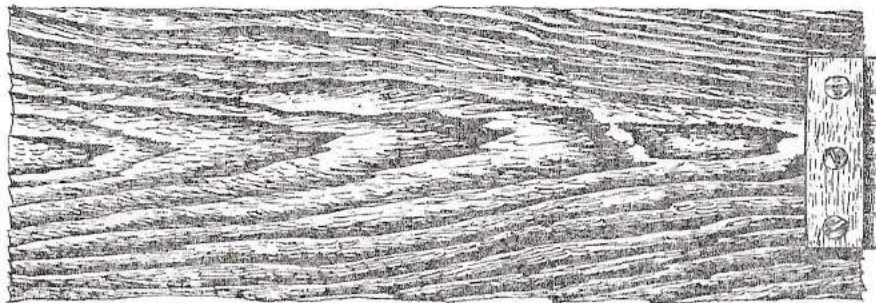
島尾敏雄私論 村上 武 夫 124

創作「ローマの別荘」 奥 野 路 介 149

時 評・書 評 137

表紙/近藤郁英

目次・イラスト/吉岡康正・石川九楊



特集 革命軍の構築にむけて！

18

起訴状——赤軍派議長・塩見孝也——

18

中国革命と革命の哲学……………藤本進治

22

反スタ主義の止揚と現代革命…八木沢二郎

43

朝鮮半島のゲリラ戦士、金智会…許元沢

52

秩父蜂起ノート……………山崎 敦

71

軍事ノート(2) 小林ちよじ

77

■〈未完〉の革命史I……………

119

〈未完〉の革命史への導入

大塚雅也

119

コミュニケーションの教訓

(訳) トロッキエ
菊池慎太郎

127

ロシア革命家のコミュニケーション解釈

K・メシユカツト
(訳) 滝沢 迪子

138

狭山差別裁判における弁護団の論理 師岡佑行

149

松下武雄論ノオト(2)……………中谷寛章

156

デジャ・ヴュー——創作—— 武田頼洋

162

グラビア 土方巽燔犠大踏鑑暗黒舞踏 二井章善

5

表紙/近藤都英

扉・イラスト/西村俊則

時評 祝祭の合図は届いているか 6

特集 アジア革命と世界赤軍

武装闘争と建党・建軍の諸問題 八木健彦 10

ベトナム労働党万才！ 福田隆之 41

帝国主義的人間の変革 倉地一行 69

南朝鮮のゲリラ戦士・林宗会 許元沢 84

■帝国主義論の再構成へ

反スタ主義の改良主義への転落 榎原均 102

経済学批判と宇野経済学 深谷悟 116

帝国主義論についての整理ノート 長沢喬 133

アラブより想いをこめて

重信房子

61

へ三里塚闘争へヤジ馬観戦記 安井健志 153

ある闘いの位置 太田静夫 160

流民型労働運動論 寺沢正 168

ブラック・パンサー(黒豹党)「発刊アピール」 174

へ無物への戦いー鲁迅 吉田富夫 177

無頼児エセーニンへの旅 工藤正広 186

グラビア 三里塚 北井一夫 145

序章 | 6



八・一五記念と日本人

井上清

統一赤軍結成万歳！

花園紀男

特集―武装闘争の時代と統一赤軍

統一赤軍結成万歳！ 花園紀男

8

赤軍派と革命左派の合流にあたり論争点を整理し、更なる前進に提言する

革命党―革命軍と革命戦争の大道へ 八木健彦

35

革命戦争派を真に確固たる潮流へと高め、大道への進出獲得のための提起

大菩薩被告団を戦線に奪還しよう

71

雑誌紹介 黒豹（ブラックパンサー）

134

八・一五敗戦記念日を考える

八・一五記念と日本 井上 清

136

八・一五敗戦はアメリカにでなく、アジア民族解放闘争に負けたのだ

抑圧民族と被抑圧民族の心 星野芳郎

146

内なる帝国主義を告発する

特集―パレスチナの人民解放戦争

パレスチナ人民解放戦線とわれわれ 秋田五郎

85

革命と労働者 PFLP情報局

92

グラフィア 戦闘・訓練・生活 （提供 日本アラブ文化協会）

77

民族・国民・帰属 宮城島明

99

沖縄解放闘争の現局面

「労働者の根源的暴力」考 京大労働者戦闘団

110

臨戦闘争の中から

地域管理社会と精神医療 野波行夫

118

南朝鮮のゲリラ戦士群像其の一 許 元沢

161

農村ゲリラの戦闘と生活を筆者自身の体験に基いて描いた



序章

7



that's that
all phone in the
n won't know, en-
detractors to insin-
at she sometime
rink or two
rink's fine
that her
is



city ... sides are
being chosen, points score
issues joined. It is its own
small state within a state,
with its high priests and cer-
emonies, its secret ser-
and passwords.
Yet none

☆革命戦争派の綱領問題 塩見孝也

☆確実に反撃を開始しよう 滝田 修

特集 ■ 革命戦争の党への過渡的綱領

革命戦争派の綱領問題

塩見孝也

8

革命戦争の戦略問題によせて

林 慶照

55

プロレタリア革命軍事論

蔵田計成

74

——蜂起の前提条件

特集 ■ 弾圧に反撃を！

確実に反撃を開始しよう

滝田 修

101

弾圧に反撃するアピールとアンケート ファシズムに反対するアピール
階級的報復を跳ね返し団結せよ！前進せよ！
川本記者救済報告 吉岡カメラマン救済報告

軍事ノート(3)

日本遊撃戦争から人民の軍隊創出に向けて

寺沢 正

126

戦士としての旅立ち覚え書き

針木長次郎

114

尖兵の任務・実体なき総体・個別闘争と環境

藤本進治

159

ヤングロード党の組織と活動

桐生 ゆみ

87

日韓・帝国主義的医療業務提携紛砕によせて

野波 行夫

91

沖縄を考える朝鮮人の目

具 徳煥

171

続・女衞考——または×木×三頌——

池田 浩士

185

南朝鮮ゲリラ戦士群像其の二

許 元沢

206

遠い蟻たちの輪舞

奥野路介

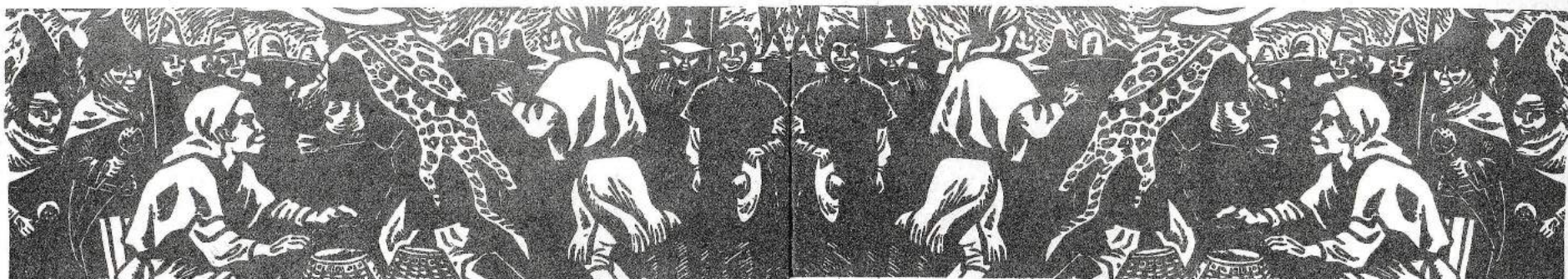
194

グラフィア

状況記号「吊鎖」

石川 九 楊
表紙／飯田 俊

93

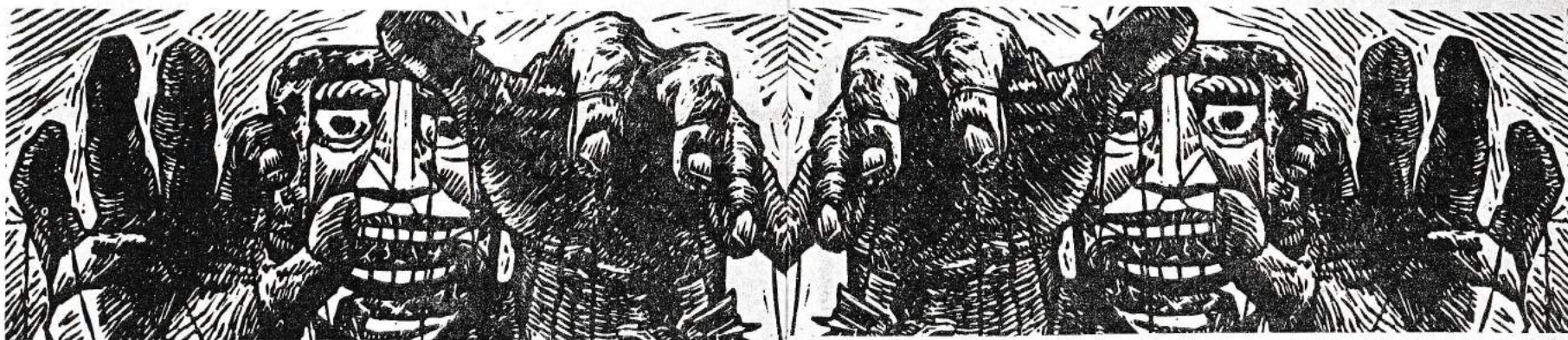


序章

8



公開論争 革命戦争派再生のために
—〈連合赤軍事件〉をどう総括するか



序章 第八号 目次

時評 6

公開論争 革命戦争派再生のために
〈連合赤軍事件〉をどう総括するか

党Ⅱ軍と人民の〈回路〉を確立せよ 編集部 8

日本共産主義運動前史から本史へ 佐野茂樹 12

上野勝輝 革命の暗黒を吹き飛ばし反動の嵐に勝ち抜ける赤い火を燃やそう 八木健彦 革命運動の大陥没を勝利への試練 34

上原敦男 長征に出発せよ 渡辺正則 血の跡を踏んで前進せよ 76

雪野建作 戦闘集団性を止揚し、革命党形成へ 7 川島 宏 「連合赤軍粛清事件」の根柢的総括に向けて 91

「連合赤軍粛清事件」に対して真の共産主義者の取るべき態度とは何か レーニン研究会 173

PFLP通信(1)アラブ情勢の新段階とわれわれの闘い (訳・中 伶司) 237

精神医療体制批判 (Lidiot international) (訳・石井奈穂) 219

刑法改「正」を粉碎せよ 宇田清治 209

「尖閣列島問題」に注目を 妻崎 研 現地緊急レポート 231

集中弾圧に対するわれわれの反撃(アンケート回答) 246

「過激派」と「ルン・プロ」の結束を 大美万吉 259

人民大衆との結合―政治工作について 羽石博史 267

中国革命路線の世界性 藤本進治 274

広州・上海蜂起 ノイベルグ著・軍事論研究会訳 286

書評 202 公開質問状・日本共産党御中 244

序章の

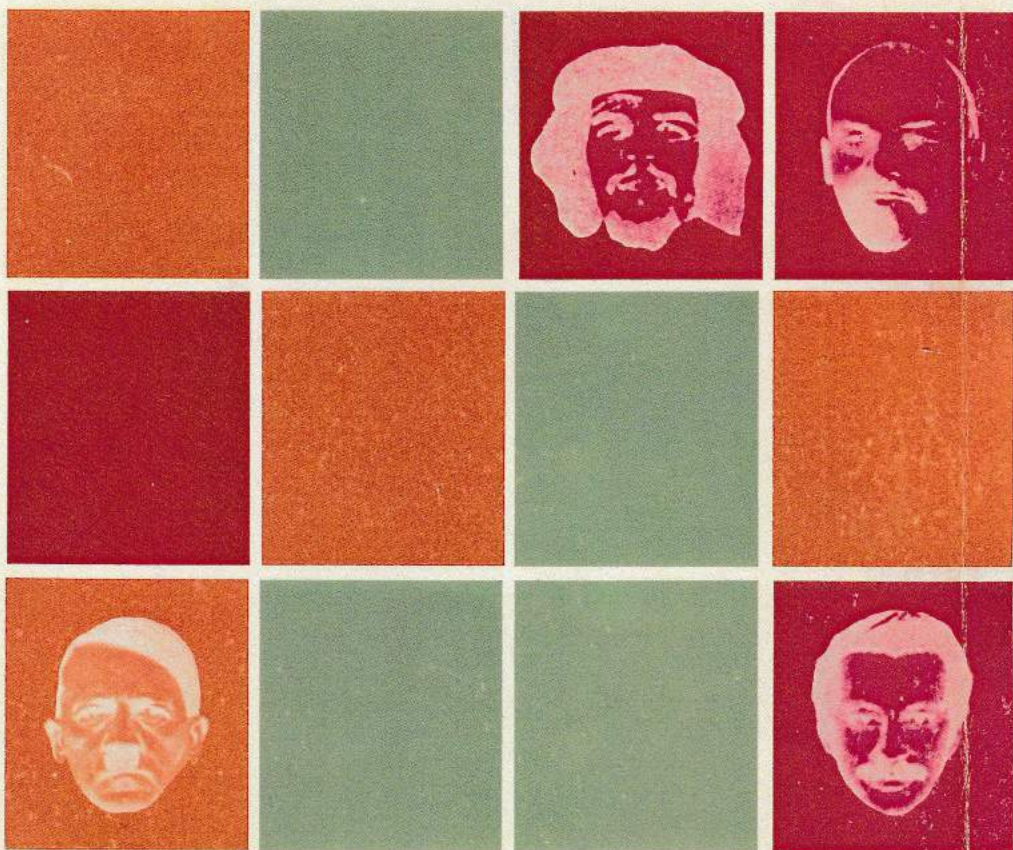


★三戦士追悼特集

——「ディア・ヤシン」作戦と世界革命

序章 10

〈座談会〉表現・知識人・ファシズム 池田浩士 吉田富夫 他 パレスチナ人民の文化抵抗闘争 G.カナファニ 赤い家（ソ連における保安処分）上 G.M.シマノフ 『総監公舎爆破未遂事件』の謀略を撃つ 福富弘美 他



パレスチナ人民の文化抵抗闘争

G・カナファニ

14

日本と日本人を告発する 宋 斗会……………32

「パリ」西独のアラブ人——ミュンヘン以後 南 濯……………49

共産主義者と民族問題 寺沢 正……………57

革命戦争派の当面する諸問題 服部 正志……………66

革命軍としてのゲリラへ序 芳澤 賢……………83

プロレタリア前衛党の建設へ 高原 浩之……………96

特別イン
タビュ— 第三世界の独立と解放

G・アンティオーブ

117

虚構を完全爆破せよ 福富 弘美……………129

七〇年代典型冤罪弾圧に対する闘い 山際 永三……………138

或る犬の物語 池田浩士……………144
——〇匹ワンちゃん大行進 西嶋 彰……………148

同学会再建の全国的意義 上野 勝輝……………153

特集／ファシズム化の過程

〈座談会〉表現・知識人・ファシズム

池田浩士・吉田富夫
奥野路介・編集部

164

ファシズムの本質と役割

ファシズムに関する
共同討論への資料

K.ゴスウアイラー／R.キ
ーニル／R.オーピッツ

211

赤い家の思い出（ソ連における保安処分）上 G・M・シマノフ……………193

エッセー／論・自殺史としてのロシア詩史(2)

草 刈 場 の 純 粋 工 藤 正 広……………225

映画「能勢闘争」制作に向けて……………(161)

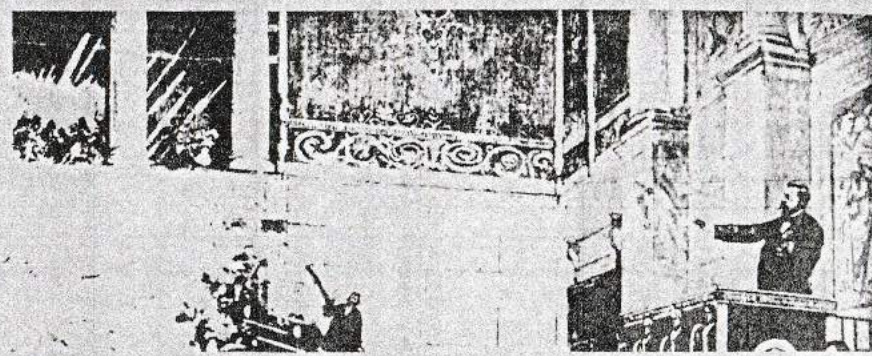
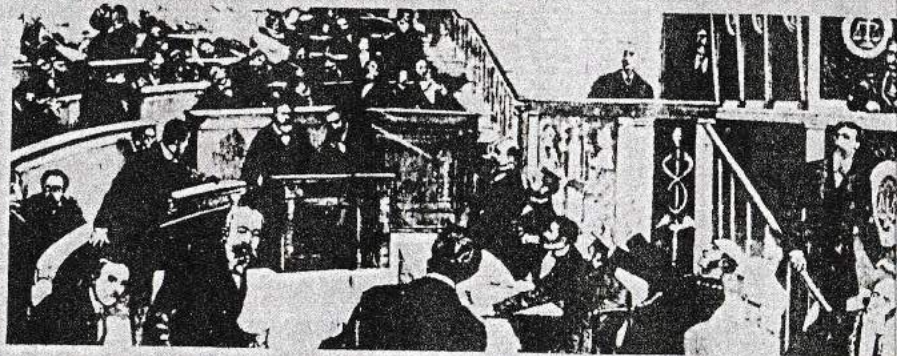
土曜会アピール……………(116)

（書評）初期ルカチ研究（池田浩士著）『フランスファシズムの生成（D・ヴォルフ著）』……………(233)

戦争と革命（I）——レーニンの政治思想 桐野 隆志……………241

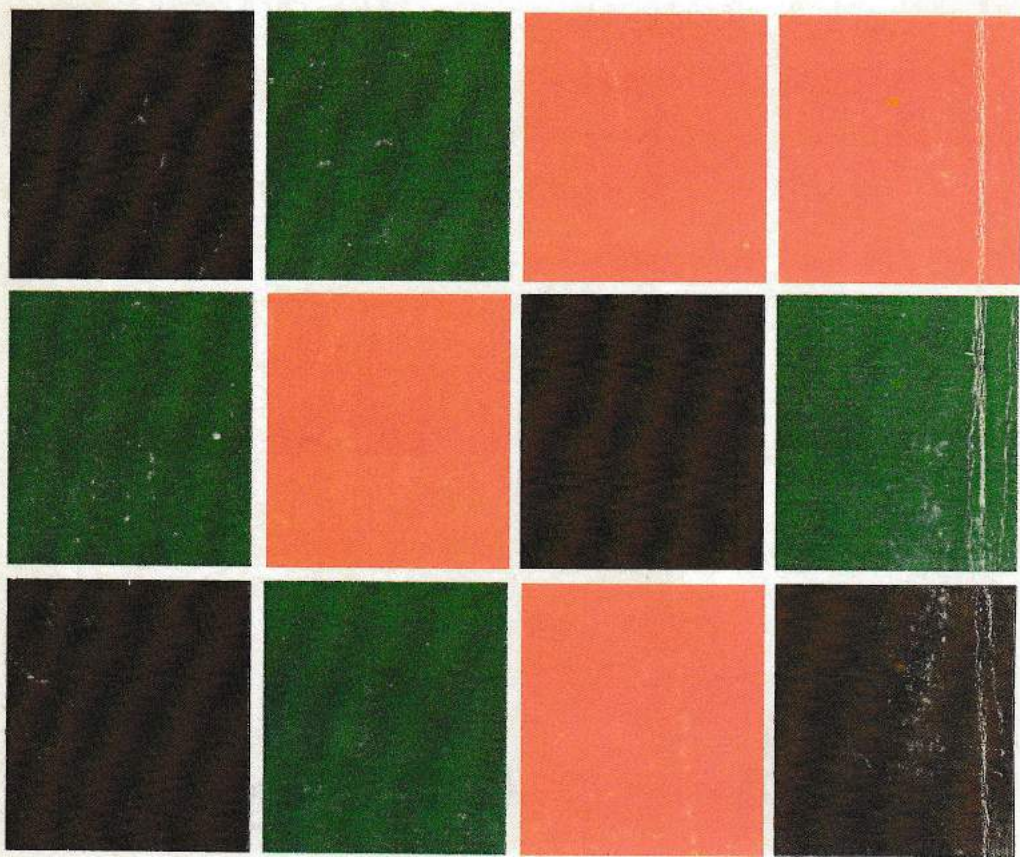
社会主義と労働運動の結合についてのノート 川原 明……………258

『歴史と階級意識』の批判（上）榎原 均……………267



序章 11

〈特集〉世界の武装革命戦線 山崎カヲル(ラテン・アメリカ)／北沢
洋子(アイルランド)／北米、フィリピン、イタリア、その他 〈座談会〉
精神障害・犯罪・市民社会 ●日本における革命の現在の地平(上)
千葉正建 ●アイヌ共和国と台湾独立戦線 太田竜 ●本格的武闘
に備える土台 田村新二 『歴史と階級意識』の批判(下) 榎原均



特集／世界の武装革命戦線

ラテン・アメリカにおける武装闘争の現状	山崎カヲル	10
アイルランド共和国軍(IRA)——その起源から今日まで	北沢洋子	23
アイルランド反帝民族解放闘争の歴史と現状	写楽ひとし	34
アメリカ帝国の崩壊に向けて	村上武夫	41
フィリピン社会とその革命戦略の諸問題	アマド・ゲレロ	74
「ローマ」 「熱い秋」以降	桐生悠史	60

西独・スペイン・パレスチナ ポ領アフリカ植民地 87

警言集 戦いのプレリユード 6

〔書評〕武装蜂起「アイベルク著、『反官僚革命』モゼレフスキー、クローロン著

地下 寝屋川署襲撃には道理はある……吉川公平／よど号ハイジャック闘争「被告」水道団、愛知救援センター、京浜安保共闘救討部、岡山十日の会からのアピール 219

ベトナム和平後の国際共産主義運動の特徴	上野勝輝	105
日本における革命の現在的地平(上)	千葉正健	109

本格的武闘に備える土台	田村新二	125
アイヌ共和国と台湾独立戦線	太田 竜	133
連合赤軍問題の総括とプロレタリアートの前衛党の建設——綱領の骨格について	高原浩之	151
再び武闘清算路線に断固反対する	『解放の旗』常任編集委	182
遊撃戦争のイロハについて	『解放の旗』常任編集委	205

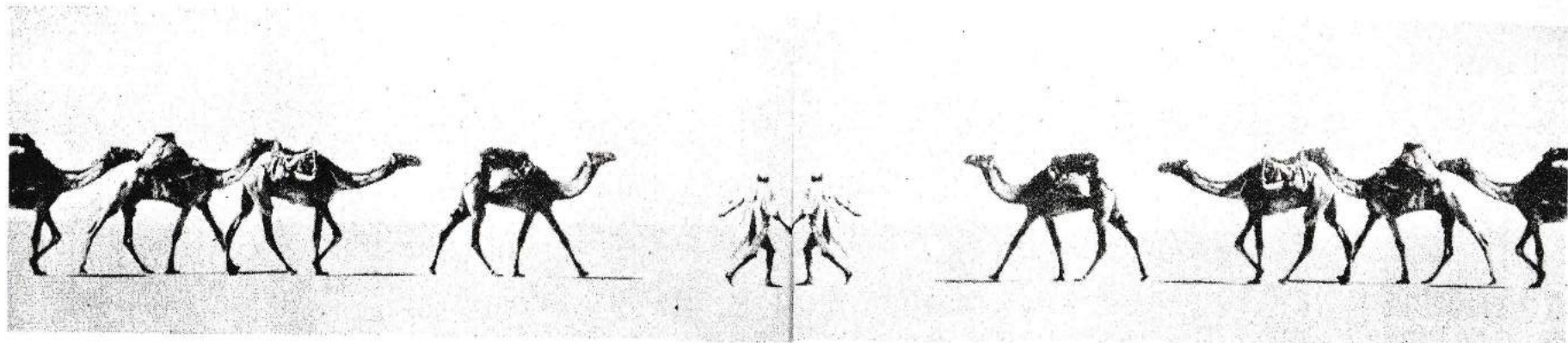
ルポ 血の日曜日一周忌に参加して 写楽ひとし 91

京都のエンツェンスベルガー	好村富士彦	268
資本主義と共産主義(上)	『共産主義運動』誌 訳・服部光司	278
左翼社会革命党の形成(上)	O.H.ラドキー	291
戦争と革命(II)——レーニンの政治思想	桐野隆志	302
『歴史と階級意識』の批判(下)	榎原 均	327

〈座談会〉 精神障害・犯罪・市民社会

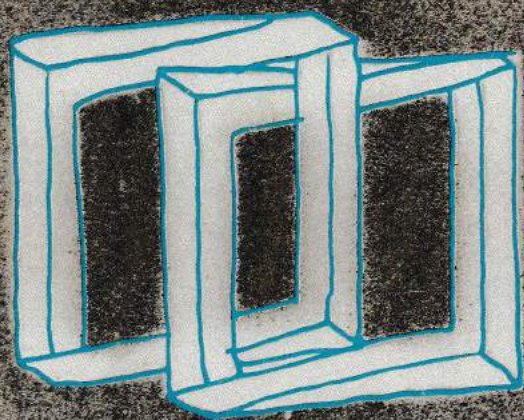
——保安処分問題、精神病理学と法学の間で

グラヴィア／アイルランド……闘いのバリエード 232

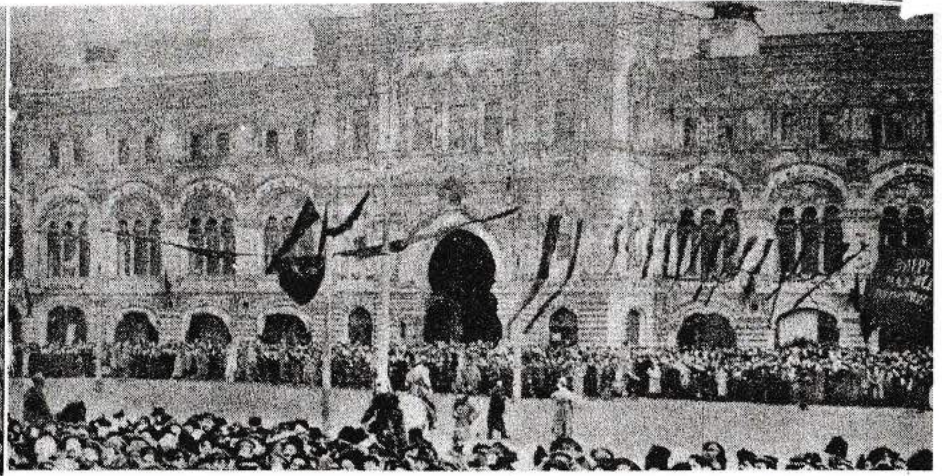
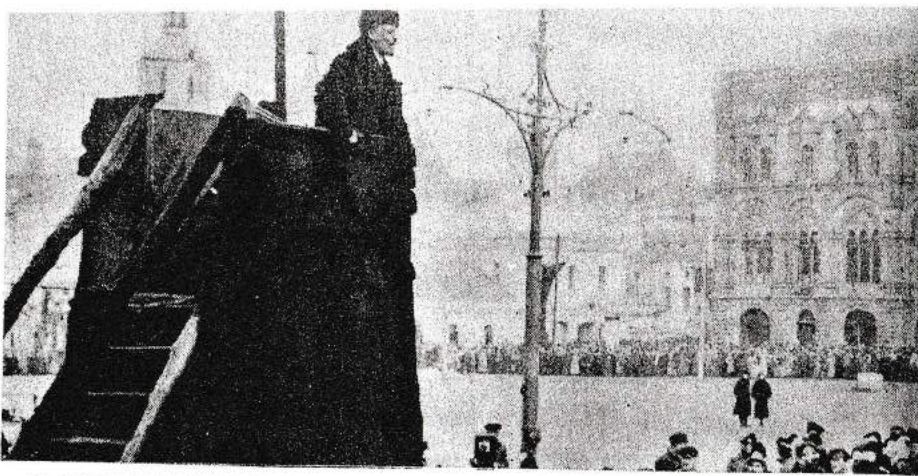


序章12

特集／日本共産党への死刑宣告 講座派・日本共産党と
70年代新左翼—浅田光輝 反スターリニズム運動の総括
—「赤報」編集委 日共党内闘争史—駒井三郎その他



公開質問状と回答—川島豪・渡辺正則・塩見孝也 コミ
ューン型戦士の今日的蘇生—田村新二 アラブ赤軍の宣
言・アピールその他、宇井純、藤本進治、太田竜その他



特集ノ日本共産党への死刑宣告

日本共産党内闘争史 その社会帝国主義への転落の根拠 駒井三郎

講座派・日本共産党と七〇年代新左翼 （インタヴュー 編集部） 浅田光輝

反スターリニズム運動の総括の視点 （「赤報」編集委員会） 水谷洋一

前衛党建設の勝利に向けて 山本恭道

日本共産党と民族問題 崎山三津夫

座談会 戦前日本共産党の総括 関武

〔公開〕公開質問状―赤軍派 塩見同志へ 川島渡辺正則

〔論争〕川島・渡辺両氏の公開質問にこたえる 塩見孝也

日本における革命の現在の地平（下） 千葉正健

コミュニケーション型戦士の今日的蘇生 田村新二

地下水道 （公判報告―よど号ハイ・ジャック闘争被告団ノドイツ通信ノ保安処分に対する抗議声明ノ樺太抑留者に支援を） 純

公害問題―中国と日本の間で 宇井純

日中国交回復の意味するもの 藤本進治

幼年・王国 （自殺史としてのロシア詩史3） 処女詩集、悦びの『ラードウニツァ』 工藤正広

赤い家の思い出 （ソ連における保安処分） G・M・シマノフ

皇道維新派批判 （連載 第一回） 太田竜

日航機ハイ・ジャック闘争

宣言・アピール アラブ赤軍

日航機四〇四便ハイ・ジャック闘争万才！ 日本赤軍―VZ 58

日航機ハイ・ジャック闘争とわれわれ 芹沢洋

序章 13

特 集

民族問題の原基形態

プロレタリア国際主義の復権のために/民族問題の戦略・戦術/ハングラディッシュとは何か/チリにおける革命と反革命(山崎カヲル)



序章 第十三号

目次

グラビア／バングラデシュ解放(?)……時評／革命の文體——民族論・断片……5 105

特集／民族問題の原基形態

プロレタリア国際主義の復権のために	駒井三郎	22
赤色工作者——タン・マラカ私考	蒼野和人	33
民族問題の戦略・戦術——その歴史 的構造——	高部久人	35
タムボフ県農民叛乱報告書	アントノフ・オフセエニコ 中井和夫訳	54
アイルランドの民族問題	写楽ひとし	52
民族問題の現在の地平 <small>バングラデシュ解放(?)一年後の地点で</small>	アブドゥル・モハメッド・アリ 「インテリゲンツ」 岡田部	130
樺太抑留朝鮮人問題	三輪実	12
チリにおける革命と反革命 ——その軍事的諸契機に関して——	山崎カヲル	8



連載(一)

国際共産主義運動の歴史的教訓

榎原均 135

プロレタリア文化大革命の原像(一)

渡辺保男 163

【公開】赤軍派塩見同志への再批判

川島豪 192

連合赤軍問題の総括

高原浩之 211

戦争と革命(三)——レーニンの政治思想

桐野隆志 245

マッセン・ストライキ論争

アントニア・クルネンブルグ
労働組合運動史研究会訳 251

左翼社会革命党の形成(下)

O・H・ラドキイ
山野新訳 276

地下水道

レバノン内戦日記——PFLP日本医療隊／マルチニツク民族解放闘争よりの報告／闘うあなたへ——アラブよりの招請状——重信房子／帝国主義の前線基地・イスラエルシオニストの軍事力 174

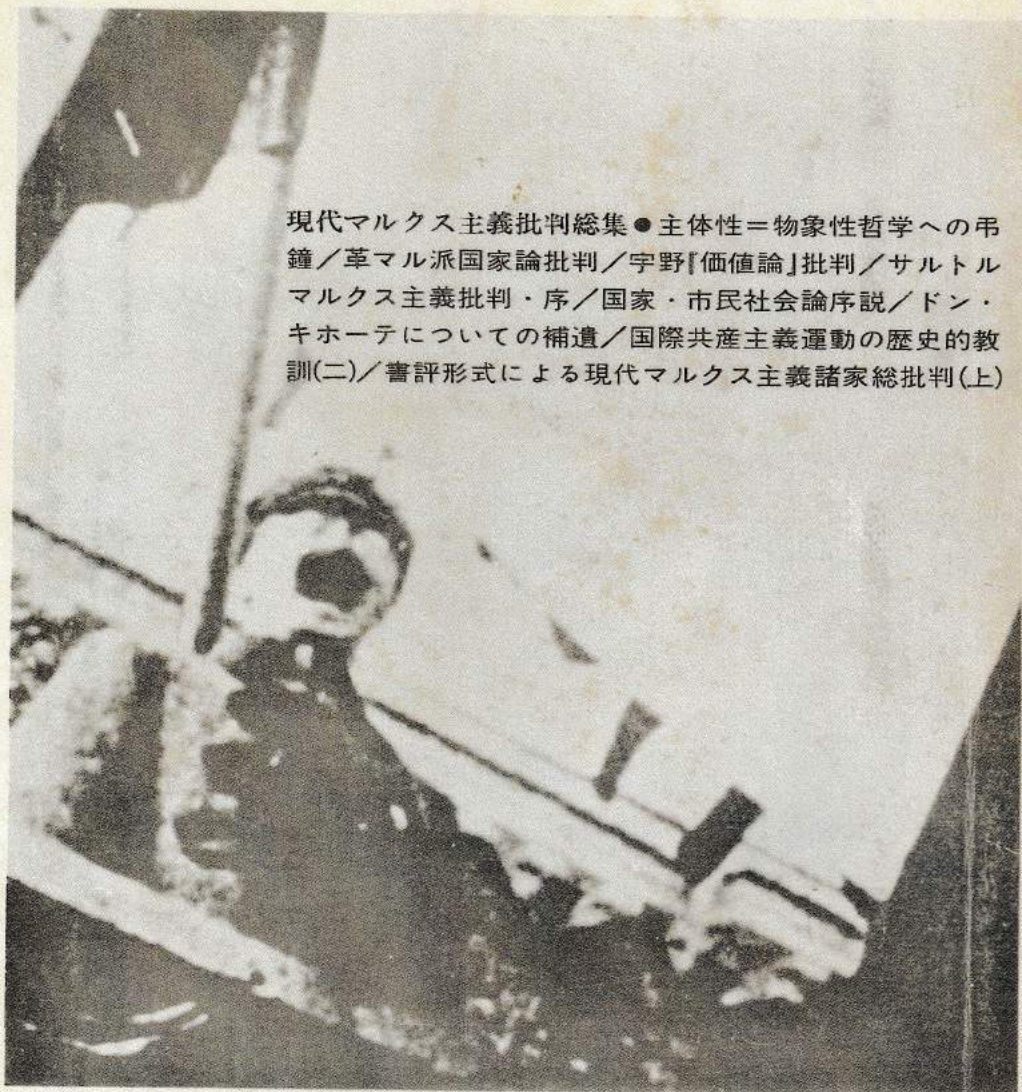
一九七四年度懸賞論文募集要綱

評書
「スヘインの短い夏」……「マフノ叛乱軍史」……120

序章 春季号

通卷 14 号

現代マルクス主義批判総集 ● 主体性＝物象性哲学への吊鐘／革マル派国家論批判／宇野『価値論』批判／サルトルマルクス主義批判・序／国家・市民社会論序説／ドン・キホーテについての補遺／国際共産主義運動の歴史的教訓(二)／書評形式による現代マルクス主義諸家総批判(上)



現代マルクス主義批判総集I

マルクス主義の
現実的諸問題

主体性Ⅱ物象性哲学への吊鐘 神谷 聴 16

革マル派国家論批判——黒田寛一「社会観の探求」批判 駒井三郎 31

稀少性とマルクス主義——サルトル・マルクス主義批判・序 江栗 凡 45

宇野『価値論』批判——『資本論』第一章のブルジョア的解釈を暴露す 共産主義者同盟(RG)「赤報」編集委員会 50

過渡期の政治経済学について(上) P・チャットバドヤイ 訳・解説 山崎カヲル 116

国家・市民社会論序説 桐野隆志 123

ドン・キホーテについての補遺 池田浩士 129

国際共産主義運動の歴史的教訓(二) 榎原 均 144

書評形式による現代マルクス主義諸家総批判 179



地下水道

シンガポール・ルクウェイト闘争についてのPDFLP・アラブ赤軍の声明・コミュニケ、樺太抑留朝鮮人帰還のための請求、獄中の戦士からのアピール 257

チリにおける革命と反革命(中) 山崎カヲル 222

民族問題の戦略・戦術 高部久人 235

皇道維新派批判(第二回)——日蓮派皇道主義 太田 竜 239

国内大激動急迫下の建党路線 田村新二 249

公開論争

連赤敗北における 山岳根拠地路線の明確化を 塩見孝也 271

赤軍派塩見氏への反論 坂口 弘 275

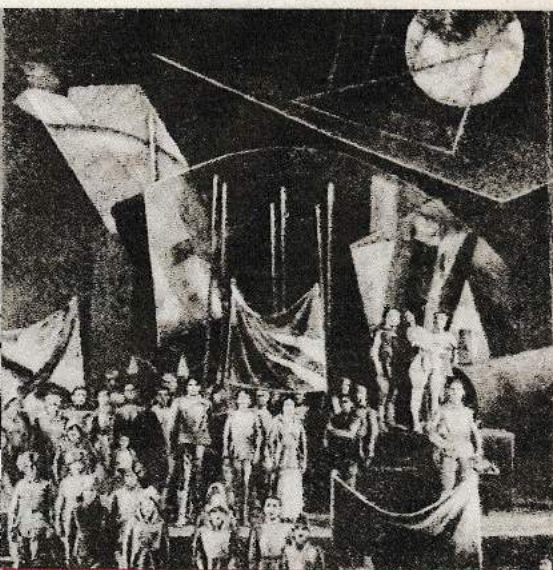
革左(神)坂口君を反論す 川塩見孝宏 277

日共(革左)川島・渡辺両氏を再批判す(上) 塩見孝也 286

序章

15号

(夏・秋季合併号)



現代マルクス主義批判総集(Ⅱ)・宇野『価値論』批判／資本主義批判と組織問題／国際共産主義運動の歴史的教訓／書評形式による現代マルクス主義諸家批判(下)

現代マルクス主義批判総集II

マルクス主義の
現実的諸問題

宇野『価値論』批判

——『資本論』第一章のブルジョアの解釈を暴露す

共産主義者同盟(RG)
赤報編集委員会

過渡期の政治経済学について(下)

P・チャットバドヤイ
訳・解説 山崎カヲル

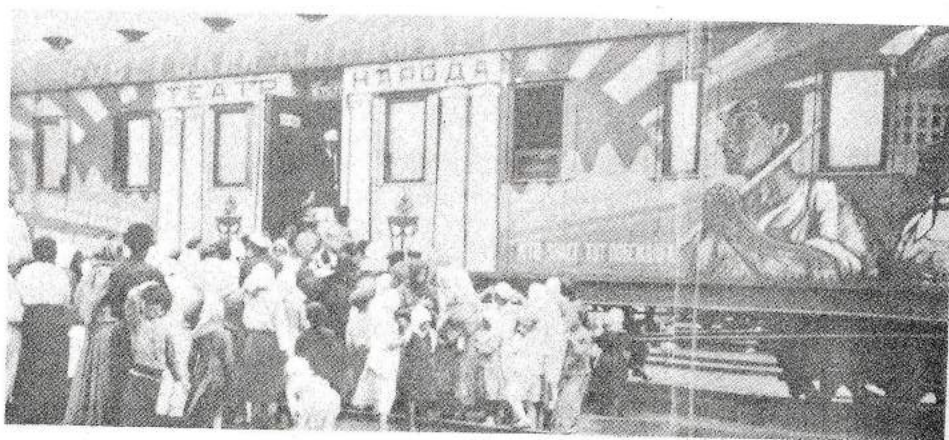
共産主義——革命の今日的位相 中 伶司

資本主義批判と組織問題について 高原 浩之

国際共産主義運動の歴史的教訓(三) 榎原 均

書評形式による現代マルクス主義諸家総批判

宦官の井戸端会議(犬丸義一、田口富久治他) 永久資本主義論の啓蒙家(見田石介) 善王・悪玉史
親の極めつき(芝原拓自) 鼻もちならぬカリスマ仮面(内田義彦) 名は体をあらわさず(林直道)
記憶カード式批評の末路(三浦つとむ) 私的な、あまりにも私的な(片岡啓治) プンカ式体操術
の宗匠(津村喬) 近代株式会社名誉会長(大塚久雄) 短絡型「革命」教の分会長(D・ケラン) 政
治嫌いの政治屋の迷言(大沢正道) ジョンブル風思想の整理学(D・マクレラン) 「万年学生」の書
齋の中味(中岡哲郎) 等々



地下 金田一京助を糾弾する 橋根 直彦

チリにおける革命と反革命(下) 山崎カヲル

——その軍事的諸契機に関して——

プロレタリア文化大革命の原像(二) 渡辺 保男

赤色工作者——タン・マラカ私考(二) 蒼野 和人

公開論争

目共(革左)川島・渡辺両氏を再批判す(下) 塩見 孝也

連合赤軍問題の形成の弁証法 坂東 国男

世界同時革命・世界社会主義革命・世界共産主義革命の旗をかかげよ！(上) 伊万里 治

一九七四年度懸賞論文募集の結果と講評／現代マルクス主義批判総集I(序章一四号)目次案内／序章社出版案内

序

草

16号

(冬・春季合併号)



PFLP日本人医療隊からの中間報告／宇野値論批判／
国際共産主義運動の歴史的教訓／ケベック民族解放戦線
からの報告

● PFLP 日本人医療隊からの中間報告
さあ 闘いはこれからだ 8

● 『ラディカル・アメリカ』誌より
ケベック民族解放戦線からの報告 113

共産主義者同盟(RG)・『赤報』編集委員会
宇野「価値論」批判(三) 35

榎原 均
国際共産主義運動の歴史的教訓(四) 73

● 高原浩之
我々の党綱領について——骨格と論争点と課題 170

● 伊万里 治
世界同時革命・世界社会主義革命・世界
共産主義革命の旗をかかげよ(下) 199

● 共産主義者同盟蜂起派
資本主義批判と我々の立場——榎原「宇野
経済学批判」を批判する 212

地下水道

釜ヶ崎共闘会議
人民ただ人民のみが歴史を動かす原動力である 186

● 山崎カヲル
チリにおける革命と反革命 232

「魔女狩り」に関する若干の考察 197

